

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

全国3000万署名・推進ニュース NO.26

発行日:2006年12月6日 発行:全教・日高教・教組共闘

- 北海道 - 道全体で、昨年度署名数を上回る！

「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」は、12月1日に、道議会に76,602筆の署名を追加提出しました。同会は、9月21日に43,460筆を提出しており、累計では120,062筆となりました。また、同日に、「私学助成をすすめる会」も、526,312筆を道議会に提出しました。合わせて、646,372を道議会に提出したことになります。昨年度の最終到達署名数が、624,349筆でしたので、道全体として昨年度より2万筆多い集約数となりました。

この成果を生み出した最大の要因は、私学が奮闘し、昨年度の106.7%を集約したことです。もう一つの要因は、自治体訪問により、共同をひろげたことです。高教組・道教組共同で、道内180自治体中171自治体を訪問し、高校再編問題、教育基本法等について懇談を行い、署名への協力を依頼しました。すると、28市町村から2,923筆の署名が北海道高教組本部に直送されました、また支部・分会へ寄せられた3000筆をこえる署名は自治体からのものでした。

現在、北海道高教組の到達数は前年度最終署名数と比較すると87.9%、道教組の署名数は80.2%です。道教組、高教組は、11日の全国集会までに、昨年度署名数を超えようと、奮闘しています。

富山 昨年度署名数の194.1% 約2倍！

富山では、5日、県議会に20,122筆の署名を提出しました。公立の署名数は、昨年度の最終到達署名数より、1,043筆上回っています。特に、富山高教組の署名数は昨年度の194.1%に到達しています。

富山高教組では、「教育基本法・3千万署名 速報」を発行し、教育基本法改悪阻止のたたかいと一体に3000万署名にとりくんで来ました。街頭でも、教基法改悪反対の署名用紙と3000万署名用紙を持って訴えました。また、何よりも多くの組合員に署名に取り組んでもらおうと、組合員と家族分の署名を集めることに力を注ぎました。さらに、退職され組合員に、両署名を返信用封筒とともに郵送し、署名を呼びかけました。その結果、11月20日現在、32名から151筆がカンパとともに寄せられました。

このようなとりくみの結果、昨年度を上回る署名数を集約することができました。

11日の集約集会まで、すべての都道府県で昨年を上回る署名数をめざして、頑張りましょう！

5日現在の署名の集約数は、6,135,834筆です。昨年の集約集会(11月25日)での署名集約数が、645万筆でした。この署名数を大きく上回る署名数を積み上げたいものです。この間、次々と昨年度の到達数を上回る県、組織が生まれています。

教育基本法のたたかいでも、15日の臨時国会閉会日を前に与党は採決を強行しようとしており、最終盤をむかえています。この教育基本法改悪阻止のたたかいと一体に、3000万署名でも奮闘しましょう。

昨年度の最終署名数を上回った県・組織(公立)

(全県として達成)北海道

(組織として達成)全教静岡、富山高教組、兵庫県教組、佐賀高教組



がんばれ

